アースドリル式拡底工法

支持力の大きい拡底杭を築造

拡底工法は、杭の軸部をアースドリル掘削機のドリリングバケットを使用して支持層の所定深度まで掘削した後、拡底バケットを使用して円錐形に拡大掘削し、先端面積を大きくした場所打ちコンクリート杭を築造する工法です。このことにより直杭と同等の支持力が得られ、また同一耐力の直杭と比較して掘削土量やコンクリート量が大幅に低減されるため、工期の短縮はもちろん、工事費の節減が可能になります。

- 拡底杭とすることで、軸部径が細くても同等の支持力が得られる
- コンクリート量、掘削土量を削減
- 環境の負荷も軽減

アースドリル式拡底工法の流れ

杭芯セット

一次掘削

ケーシング建込み

二次掘削

掘削完了

一次孔底処理（底ザラエ）

拡底掘削

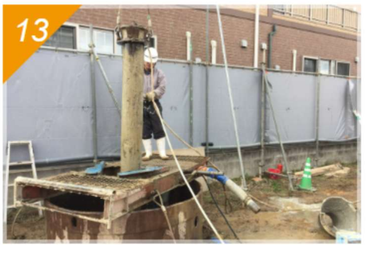
孔壁測定

鉄筋籠建込み

トレミー管建込み

二次孔底処理（ポンプリフト）

生コン打設



トレミー管引抜き

ケーシング引抜き

生コン打設完了